

『ふりかえりカード』の作り方

- 1 比較、要因抽出(関係付け)、条件制御、多面的な追究のうち、この単元で重視しなければならない科学的な思考の要素を絞るとよい。

科学的な思考の要素を絞る時は、学習指導要領の目標及び内容に書かれていることを参考とする

- 2 問題の文章は、科学的な思考の要素に関連した追究方法やその理由を問うものにする。

知識・理解重視にならないように、「かん電池の向きを変えると、モーターの回る向きも変わる」等の結果を示しておいて、その理由や追究方法を考えさせるようにする。

問題の文章には、太郎くん、春子さんなどの人物を登場させて、実際の授業での話し合いと同じような設定の中から、問題を読み取れるようにしたい。

考えを深めさせるために、児童の先入観を崩すような意外性のあるものがよい。

- 3 問題の文章をイメージしやすくするために図を入れる。

実際の観察、実験をイメージしやすいように、自分で撮った写真や描いた絵を入れるようにする。

- 4 問題に対して、児童が自分の考えを自由に書けるようにする。

短時間で振り返れるように設問を二つに絞り、自由記述できるスペースを作る。この2問の中でも重視したものを後にしておく。

《以前の学習編》

- 5 自分の考えを書かせた後、授業者がリードして正答を探らせる。

様々な考えを発表させ、今回の単元での追究方法に気付かせる中で、科学的な思考の要素に着目させる。

《まとめ編》

- 6 重視する問だけは、自分の考えを書いた後に、班ごとに話し合う時間をつくる。

班ごとに自分の考えを発表させて、友達の答えを参考にしたり、新たな考えを導き出したりできるとよい。

- 7 話し合いから、より確かなものとなった自分の考えを書けるようにする。

自分がとらえたことを自由記述できるスペースを作る。【自分の考え】で書いたものと話し合い後の【まとめ】で書いたものごとを比較しながら、どのくらい科学的な思考の要素をとらえることができたのかを判断していくことができる。

《以前の学習編》《まとめ編》ともに、A4用紙1ページで示せるようにする。